

生徒会通信 第17号

サッカー部昼夜合同チーム 準決で惜しくも敗退！3決へ！！

10月22日（土）グリーングラウンド刈谷

令和4年度愛知県高等学校定時制通信制秋季体育大会のサッカー競技が刈谷市総合運動公園内にあるグリーングラウンド刈谷で行われ、昼夜合同チームの一員として3M2 藤井暁人が出場した。

1回戦は春季大会と同じ、クラーク記念国際高校名古屋校との対戦となったが、試合開始早々から両チームともにロングボールでの応酬となる。前半に相手GKのハンドによりゴール前のFKを得る



も、ゴールを奪えず、前半を0-0で折り返す。後半は右サイドからの展開でチャンスを掴むも、得点を奪えず、相手も得点することができず、0-0でPK戦に突入する。結果的に本校は全員が成功し、5-3で準決勝進出を決めた。

準決勝の相手は同じく春季大会で対戦した刈谷東高校となった。今年度、全国大会出場の実力校との試合は、この日2試合目ということもあり、体力的にも厳しく、思うように動けず、相手チームの

個人技と試合運びに翻弄され、苦戦を強いられる。劣勢の中、GKの好セーブとDF陣の身体を張った守備で踏ん張りを見せていたが、前半に1失点して折り返す。後半も厳しい状況の中、相手ゴール前の混戦から得点を奪ったかと思われたが、得点が認められず、その後は失点を重ねて0-3で敗れ、準決勝敗退となった。（文責：福井健人）



野球部 初の昼夜合同チーム 追い上げ及ばず3決へ！

10月22日（土）小幡緑地公園野球場

準決勝

規定により5回コールド

学校名	1	2	3	4	5	6	7	計
城北つばさ	0	0	0	3	5			8
クラーク	6	3	3	2	×			14

令和4年度愛知県高等学校定時制通信制秋季体育大会軟式野球競技の第2日目が10月22日（土）に小幡緑地公園西園野球場で行われた。この大会から昼夜合同での参加となる本校は準決勝で、今夏全国大会に出場した優勝候補筆頭のクラーク記念国際高校と対戦した。

初回、1死から2番加藤勇翔、3番長野優己（昼間部）連続四球を選び、相手のバッテリーミスも重なり、1死1・3塁のチャンスを作るも、後続が続かず無得点に終わる。

先発は5月の大会でクラーク高校を相手に好投を見せた杉本竜輝であったが、この日は初回から制球が定まらず2安打6四球の大乱調で1回を投げ切ることができず、リリーフに後を託す。2番手で登板した川合ゴッディも制球に苦しみ、3回までに8四球を与え、12-0と大きくリードを許す。



反撃したい打線は4回、先頭長野が左中間へ2塁打を放つと4番川合が左前適時打を放ち、ようやく1点を挙げると、1死から6番川邊凌（昼間部）も左中間へ適時2塁打を放ち追加点を挙げる。さらに2死から8番杉本が右前適時打を放ち、この回3点目を挙げる。

その裏、復帰登板の吉井涼太が登板し、自慢の速球を武器に簡単に2死を奪うも、四球と味方のエラーなどで2点を失う。

意地を見せたい打線は5回、1死から3番長野がこの日2本目のヒットで出塁すると、2死3塁から代打小川真司が右手を骨折しながらも左手一本で適時内野安打を放ち、1点を奪う。その後、四球とバッテリーミスで2死2・3塁とすると、途中出場の7番吉井が左前適時打を放ち1点を追加する。さらに連続四死球で1点を加え、2死満塁から1番米山快が左越え適時2塁打を放つが1塁走者が本塁憤死し、追い上げむなしく試合終了となった。（文責：鈴木貴之）



次回予告 3決 VS 刈谷東(通) 10月29日(土)10:00～小幡緑地公園西園野球場